

優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

まほろば

ふれあいネットワーク

社協広報

【特集】広がれ！いきいきサロン活動

第15号



楽器演奏でこころと身体のリフレッシュ

デイサービスセンターふれあいでは、音楽教室等の新規メニューを加えて、サービス内容も更に楽しいものとなってきている。

写真／ふれあいの館・ひだまりの部屋から

特集

広がれ！ いきいきサロン活動

より生き生きとした生活をするための地域活動

本格的な高齢社会を迎え、在宅の高齢者に対する諸サービスが整備される中、この山形村では、徒歩で集まれる集会所等を拠点にして、身近な地域の高齢者とボランティアが自主運営する楽しい仲間づくりの活動「いきいきサロン活動」がはじめられている。その内容も、各種のレクリエーション、散歩、昼食会、健康教室等さまざまで、参加者がみんなで企画し、その日の天候等によって内容変更も可能。大変自由で気軽な活動である（山形村では各連絡班等を単位として結成されつつある）。

在宅の高齢者等が、より生き生きとした生活をするための地域活動として、いま期待されている。

（問い合わせ／山形村ボランティアセンター／電話98-3081まで）

人にやさしい地域づくりを進めたい（下竹田上手村／きらきらサロン運営ボランティアから）



福祉バスで村内めぐりに出発する／下竹田上手村連絡班／きらきらサロンの仲間たち

日頃、公民館活動や福祉活動等は、活動範囲（開催場所）が中央であることが多く、参加したい気持ちはあっても出て行かれない人、又健康上から在宅を余儀なくされている人や、お年寄りが趣味の会や気寄り会の類ではなく、だれでも身近な地域の中でいろいろな人と気軽に交流できる場はないものかと考えていた矢先、社会福祉協議会より、「いきいきサロン」づくりのお話があり、すぐ名乗りをあげました。

老いも若きも、自分らしく、常にきらきらと輝いている人生でありたいと願い、きらきらサロンが誕生しました。2人の友人が喜んでボランティアに協力してくれ、先ず常会内の65才以上の方にチラシを作って参加を呼びかけたところ、初回から男性2名を含む12名が参加。お茶を飲みながら紙芝居やゲーム、昔懐かしい歌。2人の男性も詩吟や思い出の歌をうたってくれ、つきない話に2時間があっという間でした。

（次頁へつづく）

◇もくじ／社協広報第15号◇

[特集] 広がれ！いきいきサロン活動／[ボランティアグループ紹介] ふみの会……………	2～3
[在宅サービスから] 早朝・夜間・ホリデーサービスの開始／[新入社協職員の紹介] ……	4～5
[歳時記まほろば] 家庭介護教室・児童館クラブ・教室から／[報告] 平成9年度決算報告……	6
[インフォメーション] まほろばセミナー・ふれあいフォーラム21の開催他 ……	7
[寄稿] 21世紀を語る前に／上條一則（自然団体・アクアの会代表）／[編集後記]……	8

次回からは手作業も加え、談笑しながら河原で拾った石に絵筆を握ってペーパーウエイトづくりをやりました。「絵筆を持つのは何十年ぶり、なつかしいわやあー」「なかなか芸術的、結構才能あるかも」と大笑い。

一番最近では、参加した15名で福祉バスに乗って村内めぐり。先ずミラ・フード館を見学し、ラベンダーの中で記念写真とおやつを食べる。車中では「あれは、なに?」「ここは上大池、昔遊びに来たなー」と懐かしい思い出に、「どこか旅行に行ったようだ」と皆で子どもみたいに、はしゃぎました。

これからは、家にある野菜や花を持ち寄ってのお料理や、フラワーアレンジメント、常会内の美化やカラオケ、季節や行事に合わせて皆で楽しい企画を考えています。

ボランティアも3人から5人になり、「楽しく」「気軽に」「無理なく」「自由に」をモットーに、時には子ども達を加え、お互いに支え合いながら、人に優しい地域づくりを進めてゆきたいと思っています。

老若男女を問わず、大勢の皆さんの参加をお待ちしています。



▲ラベンダー畑で記念のスナップ

ボランティアグループ紹介

<p>ふみの会</p> <p>◇齊藤 澤子◇</p>	☆ボランティア活動の開始	8年程前から実施
	☆主なボランティア活動	デイサービス行事支援他

私たち「ふみの会」会員11人は、平成2年と3年に保健指導員と一緒にした人達の集まりです。任期が終わったときに、当時は、まだ「ボランティア」という言葉も珍しい頃でしたが、これからも福祉にかかわって行きたいと言うことで、会の名前もその年度にちなんで「ふみの会」としてスタート致しました。

以来、月に1回程はピアやまがたのデイサービスセンターで、利用者の皆さんが、外に出かける時のお手伝い、入浴時の着替えのお世話、話し相手などを主な活動として、お手伝いをさせて戴いておりますが、私自身教えられる事も多くあって、続けてきて良かったと心から思っております。

たまたま生まれ育った実家の、近所の方々と一緒にいる時は、その話し言葉からも亡き母の姿と重なって、懐かしく昔を思い出す楽しいひとときでもありました。



▲デイサービスセンターやまがたでの活動風景

在宅サービスから

早朝・夜間・ホリデーサービスの開始

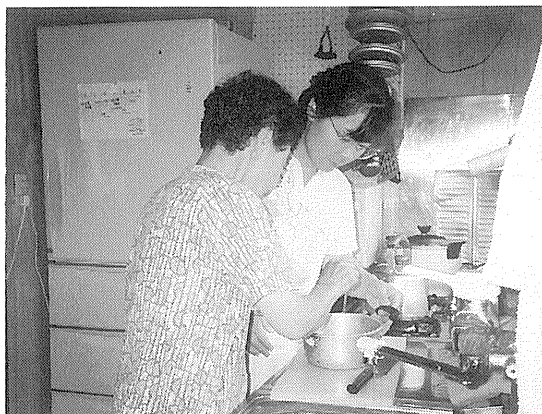
早朝・夜間の介護サービスの実施 ————— ホームヘルプサービス

介護保険の導入に向け、さまざまな制度改革が進む中、従来の介護サービスを全般的に見直す必要が生まれてきている。また、人の暮らしを支えるホームヘルプのあり方とその役割も、在宅介護の現場からの視点で、あらためて問い直すことが求められている。

山形村では、ホームヘルプサービス利用者が、家庭でより自立した生活を営んでいただくための支援策として、この4月より従来のサービスに加え、早朝(6時から)・夜間(22時まで)サービスを開始し、また土曜日・日曜日・祝祭日のサービス(ホリデーサービス)も6月より開始。その運営を山形村社会福祉協議会が行うことになった。



夜間のホームヘルプサービスに向かうスタッフ

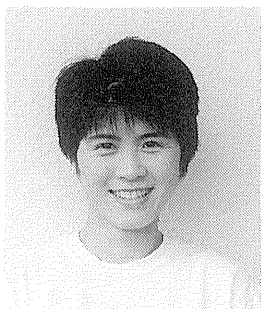


ホリデーも利用者といっしょに昼食づくり

新入社協職員の紹介

◆みなさんの笑顔を喜びにしたい◆

看護婦 中畑美津子

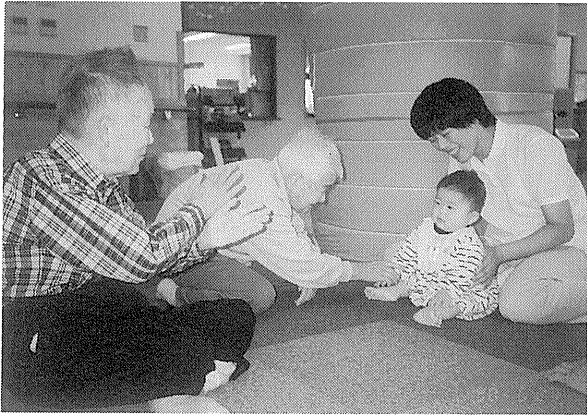


出身は木曾福島町です。東京で看護を学び、働き、10年ほど暮らしたのち、主人の仕事の都合で山形村へ越して8年目になります。いままで看護婦として、また、一人の人間として生、死、人生についていろいろなことをたくさんの方から学ばせていただきました。私にできることは何かを常に考えながら看護にたずさわってきたつもりです。「福祉とは」私の中でまた新しいテーマができました。でも今までと目指す方向は同じだと思っています。みなさんの笑顔を私の喜びにできるよう微力ではありますが精一杯努力したいと思っています。よろしくお願ひします。

ホリデーサービスの実施 ————— デイサービスセンターふれあい

デイサービスセンターふれあいでは、本年4月より従来のB型サービス（基本型1日当たり15人以上対象）に、E型サービス（痴ほう性老人1日当たり8人以上対象）を併設し、その事業規模を拡大した。さらに昨年から実施してきた土曜日のサービスに、本年6月よりは、日曜日・祝祭日を加え、ホリデーサービスを開始した。これにより年間を通して毎日開所することとなった。

現在は、送迎や入浴等を除いたサービス対応としているが、幅広いサービスの提供を目指している。また通常日には、朝・夕の時間延長サービス（朝7時～夕方7時）も実施しており、これらサービスの利用枠が拡大されたことにより、利用される方や介護されている家族からは大変喜ばれ、利用率も増えている。社会福祉協議会では、この4月より職員を増員するなど体制を整えて事業に臨んでいるが、利用者からの意見や希望を聞きながら、より適切なサービスが提供できるようつとめて行きたいとしている。



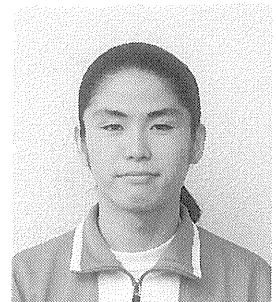
だれでも気軽に利用できるホリデーサービス

◆利用者の気持ちを大切に◆

生活指導員 小松 佳典

この春、短大を卒業し、山形村社会福祉協議会の生活指導員として仲間入りしました。短大では、幼児教育科を2年、専攻科福祉専攻を1年勉強し、自分の希望する老人介護の仕事につき、毎日頑張っています。

私は子供の頃からスポーツが好きで、バレーボール、バトミントン、硬式テニスなどが得意です。山形村は、スポーツ・行事が大変盛んな村なので是非参加してみたいです。福祉の仕事は毎日勉強ですが、自分の選んだ道です。これからも職員の皆さんと協力しながら、利用者の気持を大切に、良いケアが出来るよう努力していきたいと思っています。



歳時記／まほろば

家庭介護教室／公開講座の実施



▲0-157・サルモネラ菌などからの予防法を学ぶ

社会福祉協議会では、家庭で介護をされている方々を対象に行ってきた介護教室を、今年度からは、一部公開講座で開催することとした。

第1回目は、役場中原美幸栄養士より、「賢い食中毒の予防法」と題し、指導をいただいた。

公開講座で行う家庭介護教室は、今年度中に5回程度を計画している。ご近所お誘い合わせて、気軽に参加をいただきたい。

新規メニューを加えはじめた児童館クラブ・教室

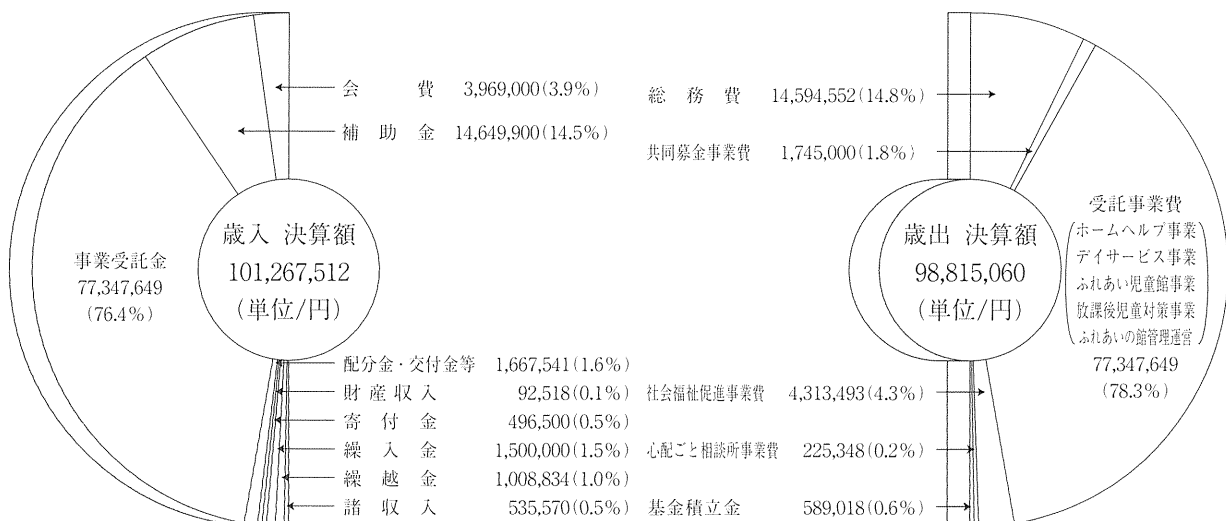
本年度のふれあい児童館子ども会（レインボークラブ）活動も、わんぱく探検隊・リトルサウンド・子ども手話教室・子ども囲碁将棋教室にドッジボール教室を加え、また特別講座・教室として、ちびっこ陶芸教室・ちびっこパン教室・コスモファミリー講座にトールペイント教室を新規企画として加え、例年にも増して子どもたちからは人気をよんでいる。



▲オリジナル作品に挑む／トールペイント教室

平成9年度一般会計決算の報告

去る5月29日、平成10年第2回山形村社会福祉協議会評議員会において、平成9年度社協事業報告並びに一般会計決算が承認された。一般会計決算の概要は次のとおりである。



▲山形村社協／平成9年度一般会計決算の概要

インフォメーション

問い合わせ先 山形村社会福祉協議会事務局

【ふれあいの館内／98-3081】

平成10年度第3回／家庭介護教室／公開講座

8月8日(土) 13:30～15:00
於／ふれあいの館

■演題 心や身体に効く音楽のしくみ

■講師 宮下弘子 先生
(長野県音楽療法士研究会代表)

講師からのメッセージ

あたたかく癒される楽しい音楽を
あなたも体感してみませんか。

平成10年度第1回／まほろばセミナー

8月21日(金) 19:20～20:40
於／ふれあいの館

■演題 安心して暮らせる村づくり

■講師 秦靖枝 先生
(山梨英和短期大学講師)

講師からのメッセージ

いざという時に頼りになるのは地域の人々。
ちがった力を持つ住民が手を繋げば「安心して暮らせる村」ができることを、実践を通してお話します。

平成10年度／ふれあいフォーラム21
ボランティア体験学習講座 PART①
於／ふれあいの館

■テーマ 絵本の世界【全5回講座】

8月21日 9月4日・18日 10月2日・16日
各日／a.m. 10:30～11:50

■講師 越高令子 先生
(ちいさいおうち)

平成10年度／ふれあいフォーラム21
ボランティア体験学習講座 PART②
於／ふれあいの館

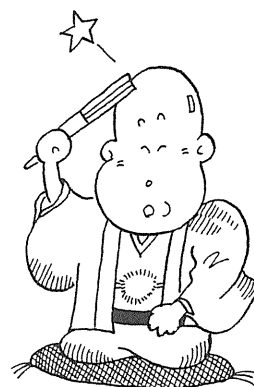
■テーマ 懐かしくて楽しい音楽講座
【全5回講座】

8月28日 9月25日 10月9日・23日・30日
(一部日程が、変更になる場合があります)
各日／a.m. 10:30～11:50

■講師 西山紀子 先生
(早春賦愛唱会代表)

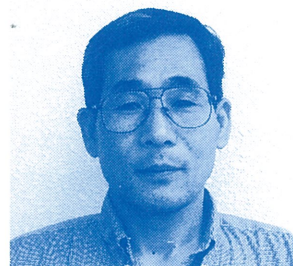
ボランティア体験月間

あなたの特技を
ボランティア活動に
活かしてみませんか



お問い合わせ
山形村ボランティアセンター
(電話)98-3081

上條 一則（自然団体・アクアの会代表）



「あなたは今、1万6千の命を踏みつけている。」と言ったらげんな顔をされるでしょうか。

これは野外での話ですが、普段なにげなく私達が歩いている落葉や枯草の下には、片足分で約8千匹の微生物や小昆虫が生息していると言われています。

それは目で見えるものから、肉眼では確認出来ないほど小さなものまで様々ですが、彼等は遙か2億～4億年以上の昔から、動物の死骸や落葉など、あらゆる有機物を分解し肥沃な大地を造り、草木を育てて来ました。いわば偉大なる地球の掃除屋さんで私達人間の大恩人なのですが、彼等が造り上げた快適な環境の中へ、欲目にみてもたかだか2百万年程前ひょっこりヒョウタン島の如く生れて来た人間が、臭いとか汚いとか忌み嫌う不幸な星の下に生まれた生物なのです。

私達は当たり前のように呼吸をしています、彼等が育てた木や草を、蝶や蜂・鳥や風などが受粉を助け、木や草は光合成により炭酸ガスを酸素にかえて、私達の命を支えているのです。

因みに、人ひとりが呼吸をするだけで高さ20mの木が16本。更に火を使い、車に乗るなどの文化的な生活を維持するには、一人当たり2百～3百本の木が必要だと言います。

にもかかわらず私達人間は、更なる豊かさを求める余りここ数十年の間に、野山を切り崩し河川に蓋をし、太古の昔より彼等が堂々と培って来た大いなる緑の大地を、殺伐としたコンクリートジャングルと化し、その止まる所を知りません。

挙句、誕生以来46億年・優に1億種を越えるであろう動植物を育てて来たかけがえのない地球を、ただ1種に過ぎない人間の戦争・開発は数え切れない動植物を絶滅に追いやり、更には工場の煤煙・フロンガスなどの無秩序な放出は、地球の浄化能力を越えオゾン層を傷つけ地球温暖化・酸性雨・異常気象をまねき、このままでは後世に引き継ぐべき地球環境の存続さえ危ぶまれるに至っているのです。

我が国は自由の国。基本的には人に迷惑さえ掛けなければ何をしても良いが、反面自分達のした事に責任を持つ義務が有ります。

21世紀を語る前に、未だ間に合う今こそ最大限の努力を払い、かけがえのない地球環境を次代に引き継ぐ事こそ、まもなく終わろうとしている激動の20世紀に生きた私達の義務で有り、私達のツケを、次代を担う子供や孫たちに回してはならないと思うのですが。

◇ 編集後記 ◇

■「自分は健康」と感じているお年寄りは、日頃、まわりの人と親しく話をしたり、よく笑っている人が多いらしい。笑っているうちに元気がでて、なにごとにも前向きになり、相当むずかしいことでも乗り越えていけるからなのか——笑いは、自律神経の働きを活発にし血圧を下げたり消化をよくするなど医学的にも効用が認められているとも聞く。■いま、各地区に広がりつつある「いきいきサロン」へ参加する仲間達も、陽気に笑って、いつまでも健康でいてほしい。

編集人／社協-M.

まほろば

(社協広報／第15号) 平成10年7月30日発行

●発行所

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (ふれあいの館内)

〒390-1301

長野県東筑摩郡山形村3940番地の1 ☎0263 (98) 3081 FAX0263 (98) 3016

●印刷所

日本ハイコム株式会社